

社内報 9 月号

株式会社NITTOH

リフォームイベントを各店で開催

奈良、各務原、本店でリフォームイベントを開催しました。阪神営業所でも近鉄不動産様のリフォームイベントに参加。流しそうめんや風船釣りといった暑い夏らしい催しを行い、来店者に楽しんでもらいました。



奈良



岐阜 ゴーヤできれいに緑化されました



本店



阪神 FRP の門柱

NJT の耐震イベント

ウイック愛知で 8 月 4 日、5 日と中部経済新聞主催の耐震イベントに参加。昨年に比べ耐震への関心が減少しているのか、来客は少なめでした。東海地区は地震発生が心配され、耐震強度の低い住宅が多い割に関心が低く、防災の上でも奮起して行政や関係団体とともに、住宅の耐震化を進めていく必要性を感じました。そうした中で、8 月 29 日に東南海地震による新たな被害予想が発表され、東日本大震災の経験からも被害予想が大きく拡大されました。新聞にも、減災のためには、家屋の耐震補強、家具の転倒防止、避難方法の確立などが大変有効であると記載されていました。津波被害が予想される地域で

も、早期避難のために家屋が倒壊しないことが必要です。津波による被害が想定されるならば、家を使用し続けることは不可能かもしれませんが、倒壊しないようにしておくことは命を救います。簡易で安価なアイワン工法は、最適かもしれません。家の倒壊、津波による被害とも、東海地区の愛知、静岡、三重が最大の被害予想です。9 月 1 日は、防災の日です。私達も防災、減災に向けて、専門家として努力していきましょう。



耐震イベント

組織の変更

ソーラー事業部を廃止し、名古屋営業所に統合しました。これは、各営業所でソーラー事業に取組み、各営業所の売上として計上していき、全社的にソーラーの売上を伸ばしていくためです。営業推進課に坪内課長が所属し、本社として各部門をバックアップしていきます。家庭用ソーラーの出荷高は、日本全体で 4 月から 7 月までで 72 % 増と新聞発表がありましたが、当社の売上は伸びていません。海外製品は 30 % までシェアを伸ばしてきました。当社は、そうした中で国内製品を既存の住宅に設置するという仕事を中心に行っていますが、もっともっと営業に力を入れて情報の取得率を増やして、激しい競争の中で勝ち残っていかないとはいけません。やはり、良いものをしっかりした施工で行うという方針は貫き、30 年後、40 年後にもお客様に喜んでもらえる責任の持てる仕事を行っていきたく思います。早速、営業推進課の応援があり、岐阜営業所で初めてソーラーの受注ができました。

開拓営業を活発化

新規取引先の開拓、周辺事業である新規事業への取り組みを活発に行っています。

ロープで、体を支えながらビルのシーリング工事を、名古屋市中区で行いました。漏水している部分だけを打ち換えました。それでもビル 7 階部分で 100m ほどのシーリングの打ち換えとなりました。足場を組んだり、仮設ゴンドラを使用するのに比べて随分と安価に施工できました。また、大手ゼネコンの新築建設現場での塩ビシート防水工事を愛知県の西尾市で行いました。東京では、ガソリンスタン

ドの地下タンクのライニング工事に着手。関東周辺で現在研修中で、暑い中、地下タンクのケレン作業、その後の FRP ライニングに取り組んでいます。密閉されたガソリンタンク内の有機溶剤作業ということで安全第一の作業を行っています。また、北陸では、北陸電力さんやメーカーさんと力をあわせて、オール電化、ヒートポンプ式床暖房をリフォーム事業の一環として取り組んでいきます。



シーリング打ち状況



ブランク作業によるシーリング打ち換え



西尾病院

コラム「家におじゃまする」

日本の家屋では住居に伺う時に、「おじゃまする」という表現をします。また、家に靴を脱いで入るときには「あがる」といいます。これは、框があって一段高いところに行くので物理的にも「上がる」わけですが、そこには神聖な空間に入れさせてもらうという意味が込められているように思います。親しい人でも家へ上がるのは遠慮して、玄関だけで話を済ませるのが礼儀です。お茶を出すときも、玄関で済ませるのが普通です。古い家屋では、縁側で同じようなことを行う時もあります。靴を履いたままで座るのに、玄関も縁側もちょうど良い高さになっています。それが日本の文化で、しきたりです。その家の生活、プライベート空間の「邪魔」にならないように気を遣います。

さて、先日、当社の仕事の中でクレームが発生しました。ある作業中に機械が動かなくなり、社員が上司を呼びました。上司は、家の玄関が開いており、人の気配がなく部下と携

帯でやりとりをしていたので、トラブルが発生した部屋にそのまま入っていき現場を確認していました。そこに、住人様がいらして、知らない人がいるので、不法侵入だとクレームとなりました。お客様にしてみると、「とにかく、出て行って欲しい」という気持ちだと思います。これは、もっともです。お客様の心理としては、勝手に部屋に知らない人がいるのは我慢のできないことです。知っている人でも寝室やトイレなどには入れません。工事のために仕方なく入っているだけで、それだけでストレスを感じて、できるだけ少ない人数で早

く終わらないかと考えています。そうすると、工事で来ていた者が、何の権限があるのか勝手に人を入れているのですから、怒るに決まっています。工事をしていると、特権でもあるかのように家にあがったり写真をとったりとすることをしがちです。これは、とんでもない勘違いです。このクレームは一つの事例ですが、お客様が声に出さなくても不快に感じていることがあるかもしれません。一般的に家を訪問させていただく場合と同様に、あいさつをして名前を名乗り、自分がどういう者で、何のために来たかをきちんと話さないといけま

せん。それから、むやみに余分な人間を連れていくものでもありません。仕事をしていない者が、ぶらぶらついて家の上がってくるのを見るのはとても不快です。そういうことがイヤだから、工事を行わないという人も沢山います。特に、営業をせず工事だけにいく者は、営業の苦勞を知らないで、お客様への配慮が足りずに、工事をするのが当たり前という図々しい態度になりがちです。肝に銘じて仕事にあたらなといけません。

営業所だより

甲信営業所の紹介

9月の営業所だよりは、甲信営業所からお送りします。

長野県松本市。長野道松本インターチェンジの近くに営業所を構えます。営業エリアは、長野県と山梨県の全域。男性2名・女性1名、そして防水・防虫業者さんと協力して業務を行っています。昨年入社した工事担当の降旗社員は、甲信営業所初、長野県出身の男性社員です。

松本市は、人口約24万人。松本駅を中心とする市街地、畑や田んぼが広がる郊外、山々の変化に富んだ風景や、多くの温泉を楽しむことが出来る自然豊かな街です。営業所の窓から見える北アルプスの風景は、とてもきれいですよ。松本は観光の街。国宝松本城を訪れたことのある方は多いと思います。また映画・ドラマのロケ誘致にも力を入れており、松本城の少し南、ナワテ通り沿いの女鳥羽川に架かる橋は、「神様のカルテ」の櫻井翔さん、「岳」の小栗旬さん、「サマーレスキュー」の時任三郎さんなどが渡っており、新たな名所になっています。旅に出たくなったら、松本市に是非お越し下さい。

もうしばらく暑い日が続きますが、皆様体調に気をつけて。

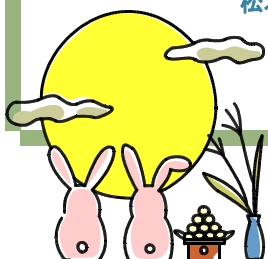
常に新しいことに挑戦する意識を持ち、所員一同頑張っていきます。

甲信営業所 ▶



◀ ナワテ通り

松本城 ▶



ちょっと一言

「チームワーク」

阪神営業所

東井 正人



皆様、お疲れ様です。阪神営業所の東井です。

連日の猛暑日による熱中症対策、ゲリラ豪雨のような夕立に遭い、びしょ濡れになって風邪をひかないようにしたりと体調管理が大変ですけれども、気をつけて業務を行っていきましょう。

もう閉幕してしまいましたが、今年の夏はロンドンオリンピックが思い出として残っています。リアルタイムに競技を観戦して、寝不足気味になった方も多いのではないのでしょうか？私は、水泳の松田選手の「康介さんを手ぶらで帰らせるわけにはいかないと三人で話してた」と言った言葉が印象に残っています。一人の為に全員が力を出し切り、勝ち取ったメダルに感動しました。なでしこジャパンや卓球等、今回はチームワークの良さが目立った大会だったように思います。

仕事に置き換えて振り返ってみると、私も阪神営業所のメンバーに色々教えてもらったり、相談をしたりして、助けてもらい受注できた物件が多々あり、チームワークで勝ち得ていたんだなと思います。

これからもどんどん自分自身成長して行って、個人のみで受注できる物件を増やし、また他のメンバーの力になり、チーム阪神・チームNITTOHの一員として受注増大できるように頑張っていきたいと思っています。

★Happy News★

資格取得おめでとうございます

★設備課 田口 勇貴
福祉住環境コーディネーター 2級